

家庭学習の手引き

～すくすく木津川台っ子～

2年生編

基本的な生活習慣をつくるのがまず大切です。起きる時刻、寝る時刻、着替えや学習準備などがひとりでもきちんとできるようにしていきましょう。しかし、自分だけで学習を進めることや、学習の方法を決めることはまだ難しい時期です。「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」と思ったり、「もっとほめてほしい」と思ったりする時期でもあります。子どもの様子をしっかりと見ていきましょう。

基本的な学習習慣を身に付けさせる関わり方のポイント

(1) 学習に集中させる工夫をしましょう。

- ・テレビを消し、マンガやゲームを片付けましょう。
- ・学習する場所を決めましょう。

(2) 時間を決めて学習させましょう。

- ・決まった時間に机に向かう習慣を身につけましょう。
- ・集中して学習できるよう「～しながら」「だらだら」はやめましょう。

(3) 子どもとの会話の時間を確保しましょう。

- ・会話の中で「ほめる」「認める」「励ます」を意識しましょう。
- ・本や教科書を読み聞かせるなど、いろいろな言葉に触れる環境を作りましょう。

(4) 子どもの興味を把握して、生活体験を豊かにしていきましょう。

- ・身近な文化や自然などに触れ、体を通して学ぶ体験を増やしましょう。

(5) 子どもの変化を見逃さないようにしましょう。

- ・宿題をみたり、持ち物を点検したりするなどの手助けが必要な時期です。徐々にできるよう励ましや助言をしていきましょう。

よりよい家庭学習のために

国語

〈音読〉

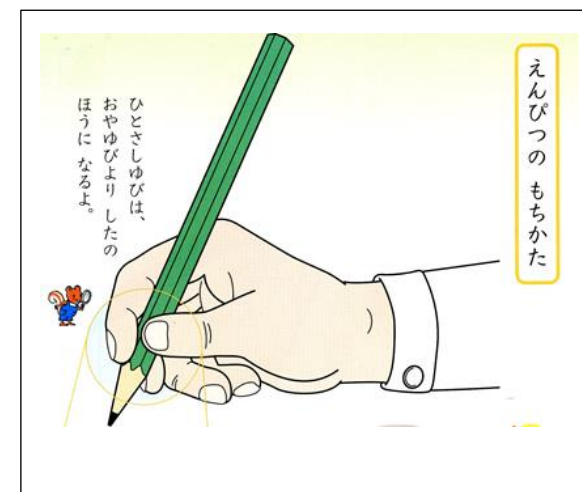
- ・大きな声ではっきりと読みましょう。
- ・「、」や「。」に気をつけて、正しくすらすら読めるようにれんしゅうしましょう。
- ・気持ちをこめて読めるようにしましょう。
- ・リズムのある詩や文にも親しみましょう。

〈かん字〉

- ・かん字は正しく読みましょう。
- ・正しいせいで、ていねいに書きましょう。
- ・書きじゅんや、文字の形に気をつけて書きましょう。
- ・とめ、はね、はらいに気をつけて書きましょう。

〈読書〉

- ・絵本やものがたりなど、いろいろなジャンルの本をたくさん読みましょう。



算数

- ・答えがまちがっていないか、見直しをしましょう。
- ・けいさんカードや九九がすらすらいえるように、となえながらくりかえしれんしゅうしましょう。
- ・ものさしを正しくつかえるようにれんしゅうしましょう。
- ・とけいのはりを見て、なん時なん分かよめるようにしましょう。

その他

- ・草花や生き物のかんさつをしましょう。
- ・たのしかったことやうれしかったことを自分のことばで、作文ちょうに書きましょう。
- ・けんぱんハーモニカを正しいゆびばんごうでひけるように、くりかえしれんしゅうしましょう。
- ・なわとびのれんしゅうをしましょう。
- ・したじきをしくしゅうかんをつけましょう。
- ・ちよくせんをかく時は、じょうぎをつかきましょう。

